

熊本県気候変動適応センターについて

熊本県気候変動適応センター
(事務局：熊本県環境生活部環境局環境立県推進課)

熊本県気候変動適応センターの設置

目的

気候変動適応法（平成30年法律第50号）第13条に基づき、熊本県における気候変動適応を推進するため、気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行う拠点として、「熊本県気候変動適応センター」を設置。
（事務局：環境生活部環境立県推進課）

設置日

令和4年（2022年）3月18日

設置場所

熊本県環境生活部環境立県推進課内

<熊本県気候変動適応センターの取組み>

1) 情報の収集、分析

気候変動影響・適応に関する情報収集、科学的知見の整理、他機関との情報共有 等

2) 適応策の研究

適応の優良事例の収集、研究機関・大学と連携した適応策の研究 等

3) 周知、情報提供

気候変動影響・適応に関する普及啓発、適応策の周知 等

構成

（試験研究機関：4 関係所属32）

部局名	構成員	
知事公室	危機管理防災課長	
企画振興部	球磨川復興局政策監	
健康福祉部	健康危機管理課長	健康づくり推進課長
	保険環境科学研究所長	
商工労働部	商工政策課長	エネルギー政策課長
観光戦略部	観光企画課長	
農林水産部	農林水産政策課長	農業技術課長
	農業研究センター所長	農産園芸課長
	畜産課長	農村計画課長
	農地整備課長	森林整備課長
	林業研究・研修センター所長	林業振興課長
	森林保全課長	水産振興課長
	水産研究センター所長	漁港漁場整備課長
土木部	道路整備課長	都市計画課長
	下水環境課長	河川課長
	港湾課長	砂防課長
教育委員会	学校安全・安心推進課長	体育保健課長
警察本部	交通規制課長	警備第二課長
環境生活部	環境立県推進課長	環境保全課長
	自然保護課長	循環社会推進課長

センター構成員と事務局の具体的な役割

センター構成員（研究機関・関係所属）

既存の取組みとして調査、研究しているもののうち、気候変動影響・適応策に関する情報を事務局に提供

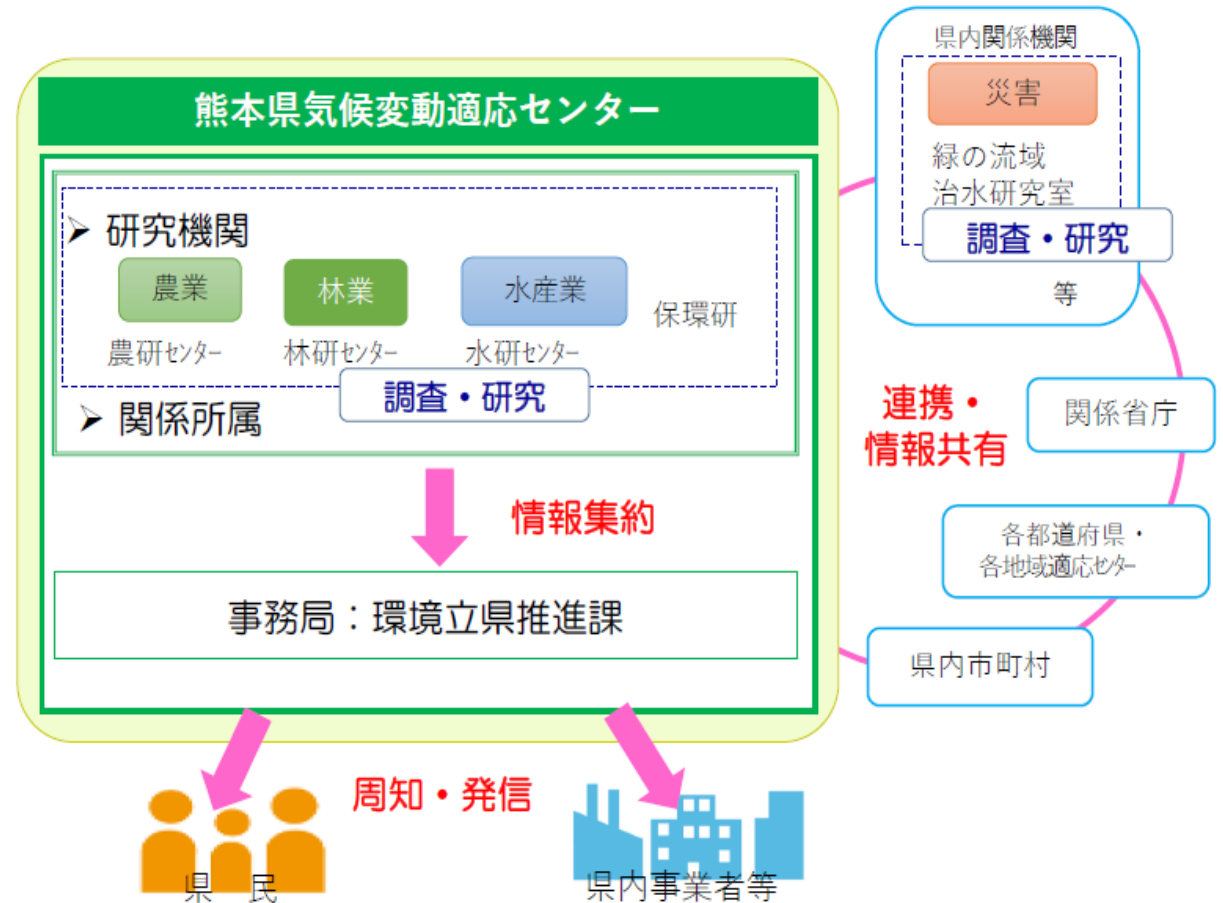
（例）

- ・試験研究機関が行っている調査・研究のうち、気候変動影響・適応に関するもの（高温耐性米の研究等）
- ・国等から入手した本県に関する気候変動・適応に関する情報

事務局（環境立県推進課）

- センター構成員から提供された気候変動影響・適応に関する情報を整理、集約
- 国立環境研究所、関係省庁との連携・情報共有
- 気候変動の影響や適応策として実践していただきたい取組み、県の施策等について、県民・事業者等に周知・発信 →事務局がHP、センター通信に掲載。

≪イメージ図≫



令和4年度の取組み

○熊本県気候変動適応センター通信の発行

- ・年3～4回発行（不定期）
- ・熊本県ホームページ（環境立県推進課ページ）に掲載
- ・県内各市町村へ送付

【URL】

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/146483.html>

（内容）

- 国等の関係機関の気候変動・適応策に係る情報
- 各試験研究機関の気候変動・適応策に関する調査・研究の情報
- 本県の気候変動影響・適応策に関する情報

令和4年（2022年）8月

熊本県気候変動適応センター通信 第1号

熊本県では、令和4年3月、気候変動の影響や適応策に関する情報の収集、整理、提供等を行う拠点として、環境立県推進課内に「熊本県気候変動適応センター」を設置しました。当センターでは、様々な分野において適応策を推進するため、関係機関と連携して収集した情報を、県民の皆様にはわかりやすい形で周知・共有していきます。

今回のテーマ：熱中症に気を付けましょう！

近年、地球温暖化による気候変動（猛暑日、熱帯夜の増加等）により、熱中症による健康被害が数多く報告されており、本県でも今年度の熱中症による救急搬送件数は504件（7月～8月）にのぼります。私たちの生命や健康を守るため、日頃から熱中症予防対策をしっかり行うことが重要となっています。

知っていますか？熱中症警戒アラート

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日の夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。発表されている日は、特に積極的に熱中症予防行動を実践しましょう！
「熱中症警戒アラート」は乗物のLINE公式アカウントで確認することができます。

熱中症警戒アラート発表時の予防行動

暑さを避けましょう <ul style="list-style-type: none">○不要不急の外出は出来るだけ避けましょう。○外出の場合は、日中や帽子を避け、こまめに休憩を取りましょう。○服装を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調節しましょう。	暑さ以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう <ul style="list-style-type: none">○のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。（1日あたり1.2Lが目安）○涼しい服装にしましょう。○屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は、適宜マスクを外しましょう。
熱中症リスクが高い方に声かけをしましょう <ul style="list-style-type: none">○高齢者、子ども、病弱者、高齢の方等は熱中症になりやすく、これらの方々には、特に、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう声かけをしましょう。	暑さに関する情報を確認しましょう <ul style="list-style-type: none">○暑さの推移の気象・温度・暑さ指数（WBGT）[※]を確認しましょう。○（※）気象・温度・湿度（ふくしゃ）[※]からなる熱中症の危険性を表す指標 <p>暑さ指数、熱中症予防に関する情報はこちら</p> <p>気象庁 熱中症予防情報サイト 検索</p>

熊本県気候変動適応センター
事務局：熊本県環境生活部環境局環境立県推進課 TEL:096-333-2266 FAX:096-383-0314
E-mail: kankyourikken@pref.kumamoto.lg.jp

第1号のテーマは「熱中症対策！」